

研究者情報

| | |
|--------|-----------------------------|
| 氏名 | 池田洋子 |
| 役職 | 生活科学科教授 学長補佐 生活科学科長 |
| 所属 | 桜の聖母短期大学 生活科学科 |
| 最終学歴 | 日本女子大学大学院家政研究科食物・栄養学専攻 |
| 学位 | 家政学修士（日本女子大学 1991年3月） |
| 専門分野 | 栄養生理学 ボランティア学習 人間学 食文化 |
| 所属学会 | 上智人間学学会 日本栄養改善学会 日本咀嚼学会 |
| 主要担当科目 | キリスト教学Ⅰ・Ⅱ 福祉学 栄養士活動論 地域食生活論 |
| 研究課題 | ボランティア学習 食育 味覚教育 |

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

| 区分 | 著書・論文名等 | 発行所・掲載誌(書)・著書等 | 発行等年月 |
|----|------------------------------------|---------------------|---------|
| 論文 | 『ボランティアが拓く新しい地平-地球社会・教育・「私」』 | カリック社会福祉研究 (長崎純心大学) | 2010年3月 |
| 論文 | 『授業「福祉学」の再構築』 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2012年3月 |
| 論文 | 『栄養士養成施設における「調理科学実験」と味覚教育』 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2013年3月 |
| 論文 | 『なぜ混迷の時代にミッションケールの使命が重要なのか』 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2014年3月 |
| 論文 | 『栄養士養成施設におけるPBL授業「地域食生活論」の取り組み』 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2015年3月 |
| 論文 | 『献立作成能力を主眼にいたカリキュラム・ツールの検討』 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2016年3月 |
| 論文 | 『栄養士養成施設におけるPBL授業「地域食生活論」の取り組み』第2報 | 桜の聖母短期大学紀要 | 2017年3月 |

主な社会貢献活動

| 社会貢献活動 | 活動年月日 |
|-------------------------------------|----------|
| 福島県社会福祉協議会ボランティア活動推進委員会委員長 | 2012年4月～ |
| 福島市子どもの夢を育む施設イベント及びワークショップ 関連企画研究委員 | 2013年4月～ |

| | |
|---------------------|----------|
| 福島市地域食生活改善推進員養成講座講師 | 2014年4月～ |
| 福島市民くらし展実行委員 | 2014年4月～ |
| 福島県ユニセフ協会評議員 | 2015年4月～ |
| ふくしま地域産業6次化推進協議会委員 | 2016年4月～ |

特別研究

| | |
|--------------------|--|
| テーマ／概要 | 食文化/ 食材や料理の由来、日本や世界各地の料理の起源、あるいは料理の道具の成り立ちなど、食文化に関する研究テーマを取り上げ、文献調査、訪問調査、アンケート調査などを行って研究し、論文に仕上げる。 |
| 特別研究内容 2016年度研究 | 精進料理・時代に伴う寿司の変動・日本と韓国の食文化 饅頭の歴史・温泉卵 |